

化学生命科学科

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

化学生命科学科では、化学や生物学の専門分野を通じて自然や社会の現象を論理的に考察する力を持ち、その専門知識を活かして社会で活躍できる人物、科学的考え方を活用しつつ他者と協力して問題を解決することのできる人物の育成を目的とする。そのため、以下の能力の修得を教育上の目標とする。

- DP1 化学と生物学を主とした自然科学系分野における基礎的な知識を持ち、基礎的な実験を行うことができる。【大学 DP1・DP2】
- DP2 化学か生物学、または複合領域のいずれかを専門とする科学分野において、専門的な知識を持ち、対象物に関する原理や理論を理解し、それらを論理的に説明することができる。【大学 DP1・DP2】
- DP3 専門とする科学分野において、英語で書かれた基礎的文献を読み、要点を理解し説明することができる。【大学 DP4】
- DP4 他者と協力して実験や調査を行うことができ、その結果について他者と議論することができる。【大学 DP2・DP3】
- DP5 実験の計画と実施を行い、実験から得られるデータを分析・整理してその実験の内容と結果の有意性を評価し、結論を導くことができる。【大学 DP2】
- DP6 実験の目的や方法、結果および考察について、図表や文章を用いて論理的に表現し、成果を口頭で発表することができる。【大学 DP2・DP4】
- DP7 現代社会の中での科学技術の役割を理解し、自然現象や社会への影響を論理的に考察し、科学的考え方に基づいて、社会に貢献できるよう自ら努力することができる。【大学 DP5】